

平成19年度事業計画

重点事業

本協会は、本県におけるアマチュアスポーツの統一組織として、その社会的役割の重大さを認識し、スポーツの意義と県内外におけるスポーツの動向をふまえ「県民スポーツの振興」と「競技力の向上」及び「県有体育施設の有効活用」に努めるとともに、加盟競技団体及び関係機関との連携を強化し、諸事業を積極的かつ効果的に推進する。

1. 県民スポーツの振興に関する重点事業

- (1) 日本体育協会公認スポーツ指導者の整備・充実と効果的な指導体制の確立を図る。
- (2) 郡市体育協会と連携をとり、組織の充実及び活性化を図る。
- (3) スポーツ少年団組織の充実と少年スポーツの指導法の適正化を図る。
- (4) 県民体育大会及び県さわやかスポ・レク祭の開催と充実を図る。
- (5) 総合型地域スポーツクラブの育成・充実を図る。

2. 競技力向上に関する重点事業

- (1) 国民体育大会における競技得点500点獲得及び天皇杯20位台を目指すための選手強化策を推進する。
- (2) 本県代表選手・チームを第27回九州ブロック大会、第62回国民体育大会へ派遣する。
- (3) 競技団体並びに中学校・高等学校と連携をし、未普及競技の育成・強化を図る。
- (4) 職域スポーツの振興を図る。
- (5) 指導者研修会を開催し、県内指導者の資質向上を図る。
- (6) 選手強化に関する環境整備の充実を図る。

3. 県有体育施設の有効活用に関する事業

- (1) 施設の整備と有効活用を図るため関係機関との連携を密にする。
- (2) 指定管理者として、県民のニーズに対応した円滑な管理運営と県民サービスの向上を図る。
- (3) 「2007青春・佐賀総体」のメイン会場としての体制づくりを図る。

事業計画

1. 県民スポーツの振興に関する事業

(1) 指導者養成及び組織充実等に関する事業

- ① 公認スポーツ指導者養成講習会、研修会を開催し指導者の資質向上を図るとともに、公認スポーツ指導者協議会の整備充実を図り、効果的な指導者の活用を図る。
- ② 市町体育協会及び競技団体が開催するスポーツ教室・指導者研修会に対して助成する。

(2) 郡市体育協会主催大会への助成事業

- ① 郡市民体育大会等を開催する郡（町）及び市に対して助成する。

(3) スポーツ少年団事業に関する事業

- ① 少年スポーツの適正化を目指し、啓発活動及び研修を行う。
- ② 第34回日独スポーツ少年団同時交流事業として、指導者1名、団員2名をドイツに派遣する。また、ドイツより指導者1名・団員8名をみやき町（7月下旬）で受け入れる。
- ③ 第45回全国スポーツ少年団大会（熊本県：7月28日～7月31日）に指導者・団員を派遣する。
- ④ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（ホッケー：岩手県・8月9日～12日、バレーボール：新潟県・男子3月26日～28日・女子3月26日～29日、剣道：静岡県・3月26日～28日）に派遣する。
- ⑤ 九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（ソフトボール：大分県、バレーボール：宮崎県、剣道：鹿児島県、軟式野球：熊本県、空手道：沖縄県、サッカー：福岡県）に派遣する。
- ⑥ 九州ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会を佐賀県が担当で8月24日～26日、嬉野市民体育館で開催する。
- ⑦ 第43回佐賀県スポーツ少年団大会（小城市・多久市：陸上他9種目…8月26日）、及び第18回佐賀県スポーツ少年団駅伝大会（佐賀県総合運動場陸上競技場：2月11日）を開催する。
- ⑧ 認定育成員研修会（福岡県）、第13回スポーツ少年団指導者全国研究大会（東京都）、全国スポーツ少年団指導者協議会（東京都）、シニア・リーダースクール（静岡県）、全国スポーツ少年団リーダー連絡会（東京都）に指導者・団員を派遣する。
- ⑨ スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会、母集団育成研修会、ジュニア・リーダースクール、ポカリスウェット・ジュニアセミナーを開催する。

(4) 県民体育大会及び県さわやかスポーツ・レクリエーション祭の開催事業

事項	第60回県民体育大会	第11回県さわやかスポ・レク祭
主催	佐賀県・佐賀県教育委員会・全市町 全市町教育委員会・(財)佐賀県体育協会	佐賀県・佐賀県教育委員会・(財)佐賀県体育協会 佐賀県レクリエーション協会・佐賀県体育指導委員 協議会・伊万里市・有田町・伊万里市教育委員会 有田町教育委員会

主管	県体実行委員会・開催競技団体	県さわやかスポ・レク祭実行委員会
期日	平成19年10月20日(土)・21日(日)	平成19年5月20日(日)・27日(日)
会場	唐津市・玄海町	伊万里市・有田町・佐賀市
内容	総合開会式、 得点競技；19競技の市町対抗戦 公開競技；なぎなた、ライフル射撃等	交流大会；24種目 ニュースポーツ体験コーナー(数種目)

(5) 総合型地域スポーツクラブの育成事業

地域において、子どもから高齢者までさまざまなスポーツを愛好する人々が参加できる総合的なスポーツクラブの育成・設立に取り組む。

- ① 総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラム及び育成委員会の開催
- ② クラブマネージャー研修会の開催
- ③ 育成指定クラブ連絡協議会の開催
- ④ 総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発・調査活動の実施
- ⑤ 育成指定クラブに対する現地ヒアリングの実施
- ⑥ 未育成市町への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動
- ⑦ 日本体育協会開催の会議、研修会の派遣

2. 競技力向上対策に関する事業

(1) 選手強化に関する事業

- ① 国体候補選手及び指導者を早期に決定し、選手強化の効果的な推進を図る。
- ② 国民体育大会において、常に安定した競技水準を維持するために、競技団体、競技クラブを指定し、その競技力の向上を図る。
- ③ 競技団体等における国民体育大会対策として、選手強化に必要な経費の一部を助成する。
- ④ 高等学校重点強化指定校を定め、その育成・強化に係る経費の一部を助成する。

(2) 国民体育大会派遣に関する事業

- ① 平成19年度国民体育大会第27回九州ブロック大会(夏季・秋季・冬季)に選手団を派遣する。

夏 季 大 会				
期 日	7/16	7/20	7/21～22	7/21～23
会 場	大分県	大分県	大分県	大分県
競 技	カヌー	ゴルフ (派遣なし)	水 泳 他4競技	サッカー

秋 季 大 会						
期 日	8/11～13	8/17～19	8/18	8/19	8/18～21	8/19～20
会 場	大分県	大分県	大分県	大分県	大分県	大分県
競 技	体操	テニス 他14競技	柔道	剣道 他2競技	ラグビー	卓球

冬 季 大 会	
期 日	12/1～12/2
会 場	福岡県
競 技	アイスホッケー

② 第62回国民体育大会、第63回国民体育大会（冬季）に選手を派遣する。

	本大会	冬 季 大 会		
期 日	9/29～10/9	20年 1/26～2/1	2/19～2/22	
会 場	秋田県	長野県		長野県
競 技	全競技	スケート	アイスホッケー	スキー

※予算については、6月補正で対応する。

（3）未普及競技の育成・強化事業

- ① 未普及競技団体の組織整備や競技力向上を支援する。
- ② 高等学校運動部重点強化指定校に活動費を助成し、少年の部の得点向上を図る。
- ③ 中学生の競技力向上を図るため、県中体連に県外交流・合宿練習及び指導者講習会等の強化事業に助成する。

（4）職域スポーツの振興

- ① 競技クラブ（成年・職域）を指定し、その活動費を助成する。
- ② 県内優秀選手の職場の雇用促進を図る。

（5）指導者研修事業

- ① 県競技力向上関係の中心的指導者に対し研修会を開催し、資質の向上を図る。
- ② スポーツコーチアカデミー研修員を国内の先進地へ派遣し、資質の向上を図る。

（6）選手強化に関する環境整備の充実

- ① 国民体育大会に出場する選手を対象に医・科学サポート及びアンチ・ドーピングに関する学習会を実施する。また、国体にスポーツドクター・帯同トレーナーを派遣する。
- ② 海外の大会に参加する選手・指導者に激励金を交付する。
- ③ 国民体育大会に関する競技団体に対し、ヒアリングや補助金等の適切で効果的な執行についての助言を行い、組織の整備・強化を図る。

3. 県有体育施設の有効活用に関する事業

(1) 施設の整備と有効活用を図るため、県との連携を密にするとともに、利用の効率化を図るため調整会議等を開催する。

- ① 施設利用調整会議（総合運動場、総合体育館、市村記念体育館）
- ② 継続使用（定期利用）団体打合せ会（総合運動場、総合体育館、市村記念体育館）

(2) 指定管理者として、円滑な管理運営に努めるとともに、県民サービスの向上を図る。

- ① 利用者モニタリング（利用者評価組織、ひと声箱、職員によるモニタリング）を行い、利用者の利便性の向上に反映する。
- ② 施設利用者の安全・安心利用を第一に施設の点検整備を行い、快適に利用できる環境づくりを推進する。
- ③ 接遇研修等を実施するなど職員の資質の向上を図り、利用の公平性の確保と利用者へのサービス向上に努める。
- ④ 既に実施している年末年始の休場日を3日間(12/30~1/1)とすること及び水泳場、総合体育館、市村記念体育館の開場(館)時間23時までを継続し、利用者の利便を図る。
- ⑤ 指定管理者として管理運営を行う県有体育施設の空き時間等を活用して、主催事業を開催し、スポーツ人口の増加を促進するとともに、県民スポーツの振興に寄与する。

(3) 「2007青春・佐賀総体」のメイン会場としての体制づくりを図る。

- ① 「2007青春・佐賀総体」の総合開会式及び主要競技の会場となることから、関係者との協議調整を十分に行い、施設の点検整備及び競技用具等の整備に万全を期し、円滑な総体運営が行えるよう努める。

4. スポーツ振興基金及びゴルフ募金の関連事業

本協会の事業充実にあてるとともに県民スポーツ振興に寄与する事業を助成する。

- (1) 第11回さわやかスポ・レク祭開催経費の一部負担。
- (2) 第14回佐賀県アマチュアゴルフ選手権大会経費の一部負担。
- (3) プロ野球選手佐賀県人会少年野球教室への助成。
- (4) 第34回日独スポーツ少年団同時交流における団員（2名）の派遣。
- (5) 第62回国民体育大会における入賞選手・指導者の表彰。
- (6) 国体等で上位入賞可能な優秀選手に対し、スポーツ奨学金の助成。
- (7) 「国体選手の医・科学サポートに関する研究」の推進。
- (8) 未普及競技の育成・強化を図るため、その活動費の助成。
- (9) 「佐賀県体協時報」を発行し、広報・啓発活動の実施。
- (10) 第3回（財）佐賀県体育協会スポーツ振興ゴルフ大会の開催。